

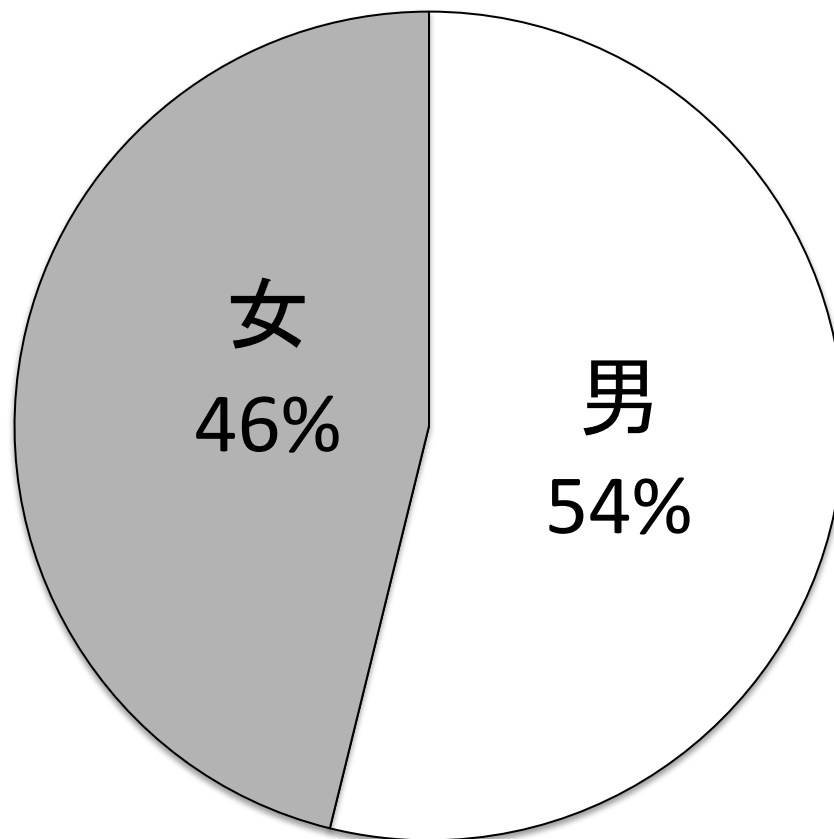
2012.11.13

**食品の安全・安心シンポジウム
～食品中の放射性物質対策～**

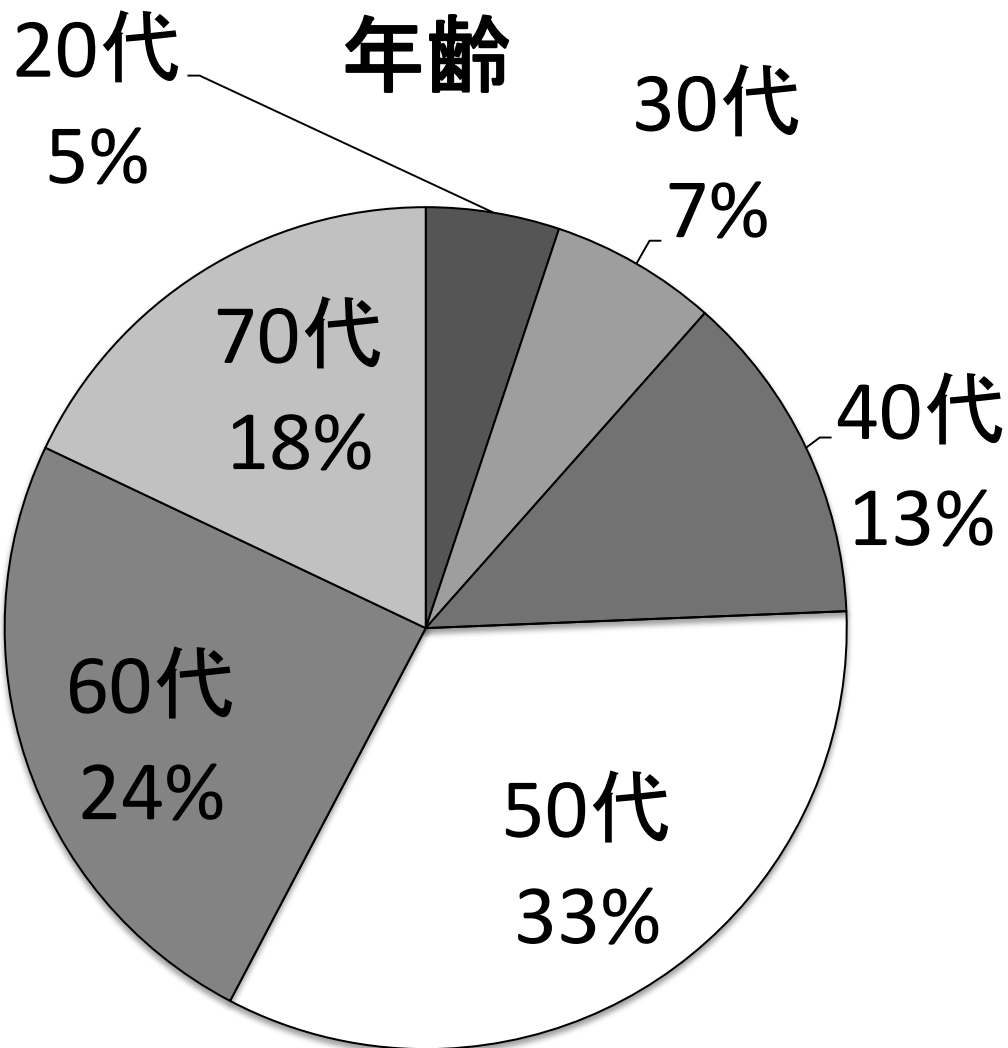
アンケート結果

(参加者 111名 回答者 78名 回答率 70.3%)

性別



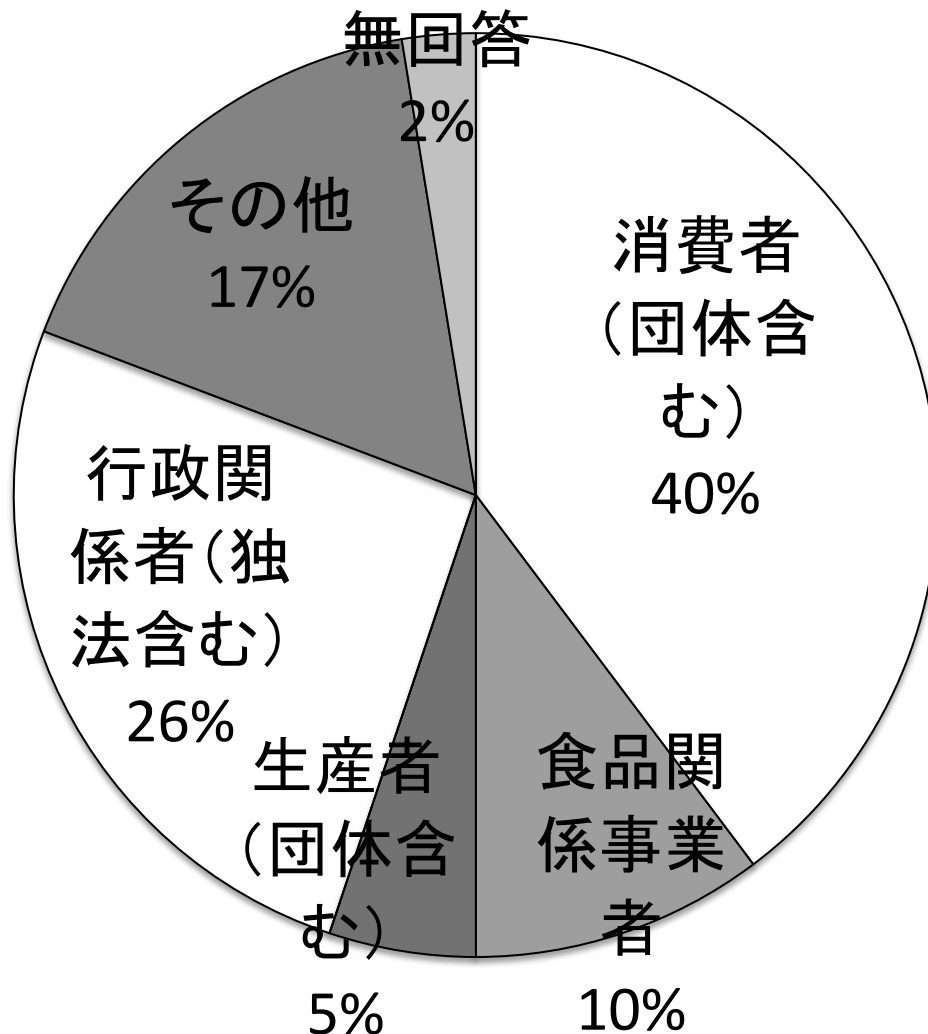
男	42
女	36
計	78



20代	4
30代	5
40代	10
50代	26
60代	19
70代	14
計	78

所属

消費者(団体含む)	31
食品関係事業者	8
生産者(団体含む)	4
行政関係者(独法含む)	20
その他	13
無回答	2
計	78



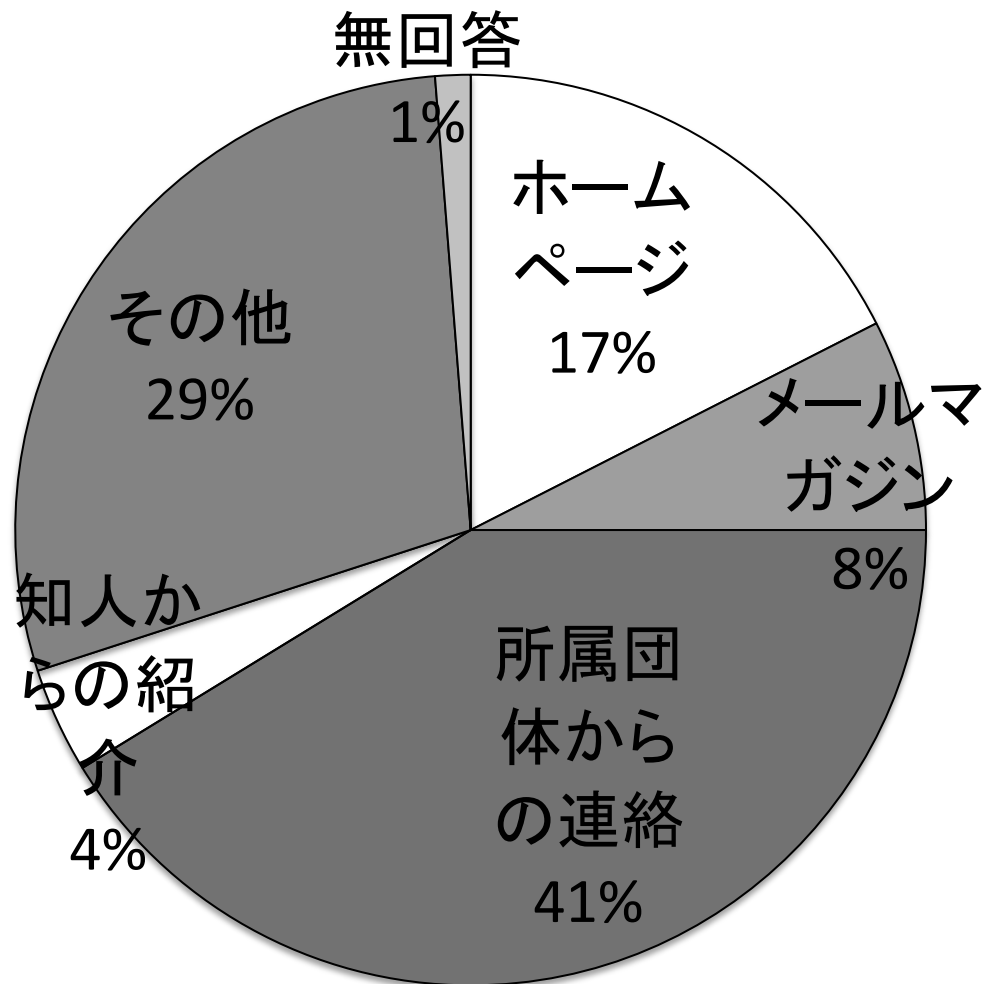
開催を知った方法

ホームページ	14
メールマガジン	6
所属団体からの連絡	33
知人からの紹介	3
その他	23
無回答	1
計	80

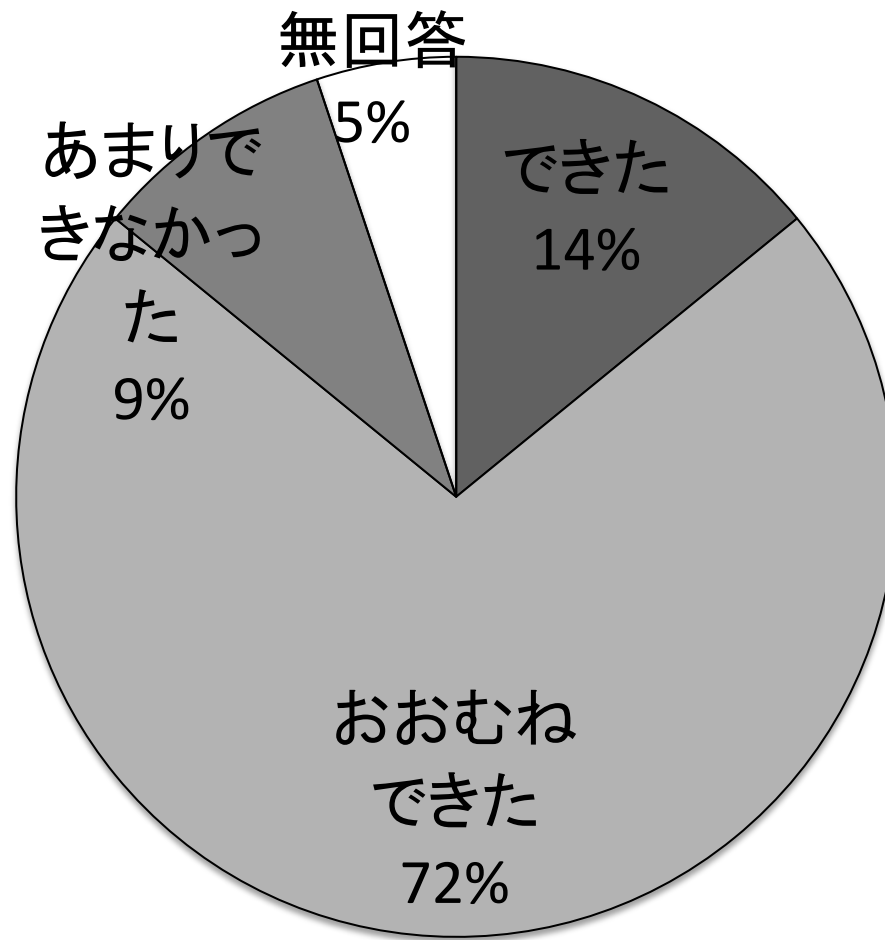
※複数回答あり

※その他

県からの案内通知など

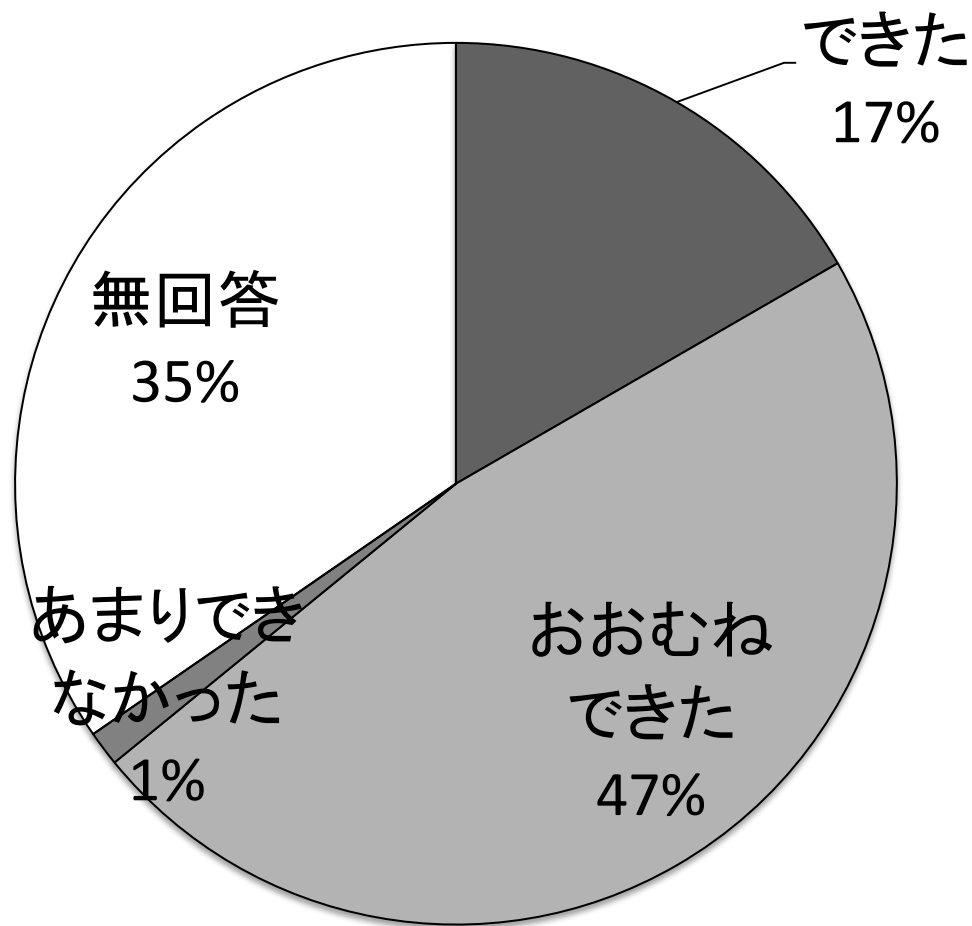


説明は理解できたか



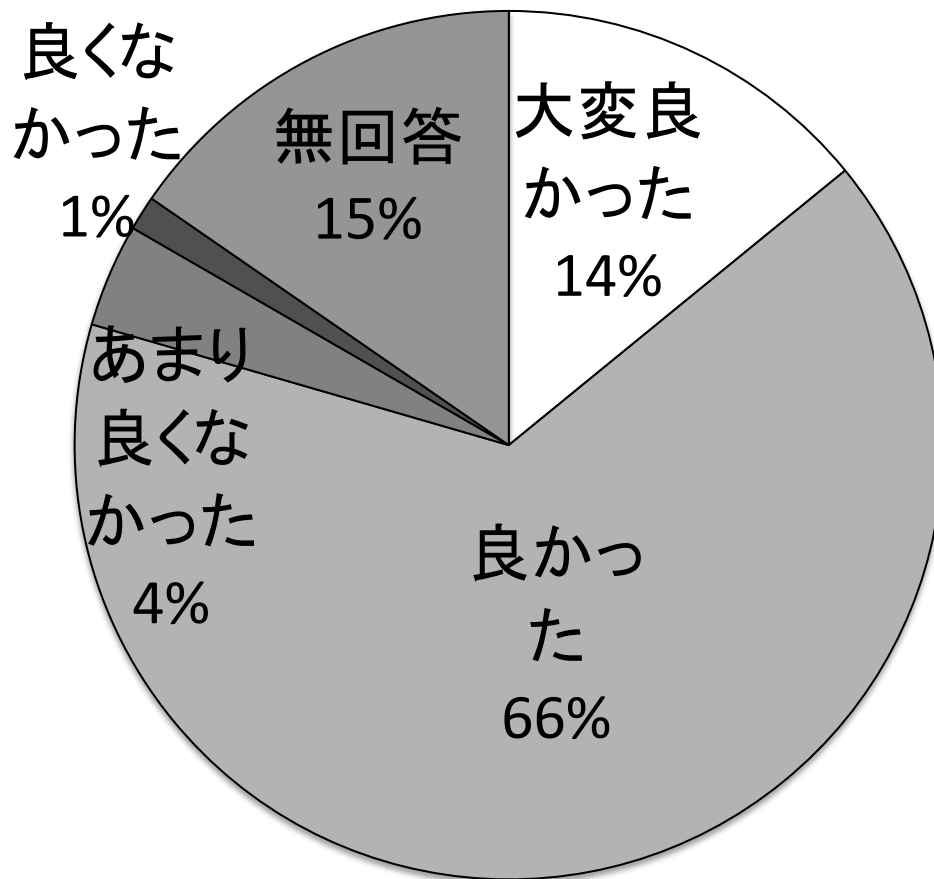
できた	11
おおむねできた	56
あまりできなかつた	7
無回答	4
計	78

意見交換は理解できたか



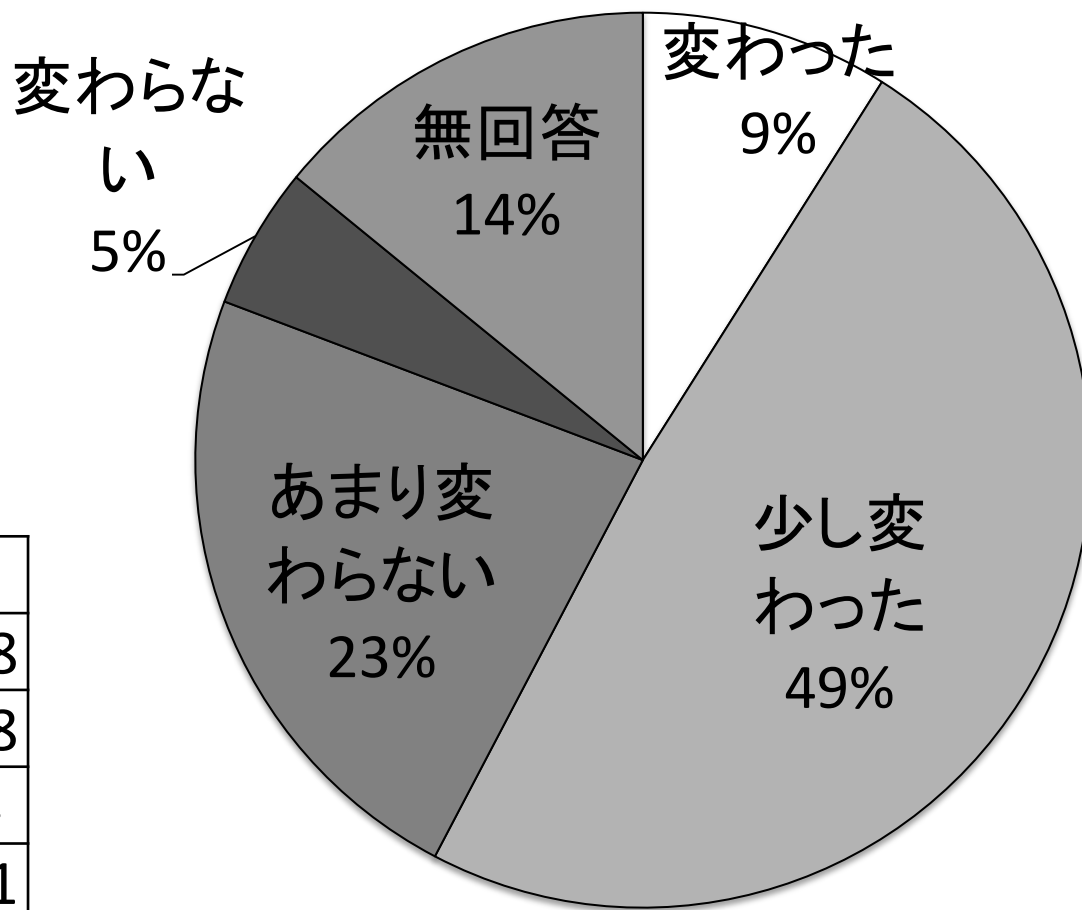
できた	13
おおむねできた	37
あまりできなかった	1
無回答	27
計	78

全体の評価



大変良かった	11
良かった	51
あまり良くなかった	3
良くなかった	1
無回答	12
計	78

自分の考え方は変わったか



変わった	7
少し変わった	38
あまり変わらない	18
変わらない	4
無回答	11
計	78

説明を十分に理解できなかった理由

資料1, 2 (について) 専門的な基礎を理解した上でないと理解できない。数値的な表現が現実的に受け止められなかった。

当方の放射線の知識不足で理解できなかった。

数値的な把握ができうれしい(人の年齢別、食品の種類別)。新基準の数値を下げられたことも安心の一つ。しかし、細かい部分について、図や表の読み取り時間が短いため、家族や友達に説明するには不十分だった。

知識がなかったので「なぜ？」と思うことが多かった。グラフが見にくい。説明している点とグラフの関係が特に分からなかった。

レベルが高すぎたのでは。一般生活者レベル(中学生)に合わせ、具体性を持たせて説明することが必要。

調査結果データが多い。

説明が早すぎて数字ばかりで分かりづらい。グラフばかりで分かりづらい。もっと絞って説明してほしい。

安全な食品が我々に出されていることがよく分かりました。

「農業生産現場における対応について」果樹の粗皮や表土の放射性物質のゴミはどこに保存されるのでしょうか。処理方法は？また農地除染についても大量の土はどこに運ばれ、それがまた混じることはないのでしょうか。

内部被ばくの害は、少量の放射線(基準値が安心できるのかどうか)でも起こると聞いていましたが、この点について(全体的に食品は安全と考えてよいとのことですが)半減期が長期になる放射線は体内に蓄積し、今後その害が出るのではないか。

安全性の説明は理解できましたが、内容が盛り沢山すぎて説明が早すぎのよう感じました。

概ね予測の範囲内

意見交換を十分に理解できなかった理由

農業生産者の方の質問は専門的なものなのにここで答えられなく、残念でした。あとはよく分かりました。質問会があって、理解が少しできるようになりました。

説明内容については、個にに応じて説明されて良かった。老齢の私どもは良いが、子や孫については今後生存していく上で、大きな疑問は残る。（福島原発のみに限らず、今後の方向として疑問。本日解決されることではないが・・・。）

資料1の9ページの通常の食品に含まれる放射性物質について質問をしたかったのですが、自分があまりにも知識がないため、質問することができませんでした。（カリウム40の件）

質問内容・・・あらかじめ用紙で。回答方法・・・端的にポイントを。ダラダラしていた。

一般の方の質問は身近に感じてよく分かりました。

1年8カ月経ってから詳細な資料や現状はこうです、実は安全でしたと言われても！食べることは1日も欠かせません。不安な日々が多かったのは事実です。今後万一の場合、貴重な体験を生かした「事故発生直後の迅速な不安除去の対策」を明示されますようお願いしております。

（資料2の26ページ、資料3の10ページについて）廃棄された放射性物質が付着したものはどこでどのように管理され、どなたが責任を持っているのか。

説明会全体について、良かった点

放射能はたとえ少なくとも食品の安全性を損なうものだと思うので。

放射能の値について難しいと思いましたが、食品への安全な取り組みが行われていることが分かりましたが、今後も経過を見ながらさらなる安全への取り組みを進めてほしいと思います。

放射能について、身近に見たり聞いたりしたことがなかった。今回シビアに各方面で調査管理されていることが理解できた。

複数の省庁より説明をいただき、それぞれの省庁での対応内容が分かり、良かった。

毎年この放射性物質について「分かった」ことが増えてくると思われます。ぜひ、続けてこの会を開催してほしいです。

パワーポイントを使っただけの説明がよかった。

農水省の担当者の方からの説明が分かりやすかった。

できるだけかみくだいた説明をしていただいたので、難しい内容も理解できました。

質問へもていねいにお答えいただいていたと思います。

データも詳しくてビックリしましたが、現場の方々の思い、努力に心動かされました。パワーポイントが配布され、良かったです。家でゆっくり拝見します。

専門的知識を分かりやすく説明していた。

全体の構成が理解できた。今までは断片的な説明のみだった。

セシウムとカリウムの関係について以前に学んだが、それが証明されて良かった。

誠実に説明していただいた。

生産現場の対応が分かりやすくて良かったです。

生産現場における対応についての話は分かりやすかった。

説明会全体について、良かった点

スライドが見やすく、理解しやすかった。
改めて放射性物質の調査の大変さや取り組みを思い知ることもできました。

資料について分かりやすい説明をされていました。

食品中の放射性物質による健康影響についての資料

食品中の放射性物質対策についての知識や背景等本日のシンポを通じ理解を深めることができた。
各行政の長に講演をいただいたのはとても良かった。今後も行政機関が横断的に、科学的及び技術的等のすり合わせを活発に行って、さらにスキルアップしていただければ幸いです。

出席して話を聞くことは良かったと思いました。参加することで少しは変わって考える機会を持てた。
質問には消費者の切実な思いが感じられて良かった。

司会者の手際良さで、質問事項に対処されていた。
昨年も参加しました。去年は現状、今後の見通しも不明確な点があったが、今年は安全性の確保の点が強調されていた。

細かな説明報告を受け安心できました。ありがとうございました。

現状の理解はできました。ありがとうございました。

国を挙げてセシウムの数字を出し、改善できるところを何度も作物生産者の方と一体になって、消費者に出回らないよう、地道な努力がされていると知り、半信半疑になっていましたが、食の安全・安心について、再度、安心を取り戻せた気持ちになりました。今後も、正直な数字を出して頂けますように。生産者の方に事故前と変わらない信頼を寄せたいと思います。

国の方針が聞けた。
空気中と土壌中の放射線量について。農産物は土の中の物と土の上の分との区別の判断。畜産はエサの原因が大きい。空気中の影響は少なくなった。飲料水でも名山は検査対応した結果影響がないことが分かり良かった。

基準値とは「基準値を超える食品」を1年間に食べる量の半分食べると1ミリシーベルトになるという数値であることが理解できた。「1度食べたらすぐに影響がある」というものではないということです。

説明会全体について、良かった点

かなり検査が細くなされていることがわかりました。原木シイタケや海の底にいるカレイは避けたほうが良いこともわかり良かったです。

各省庁の放射能対策とりくみが詳部に渡りよく分かった。

各省庁の担当官の方から説明があり、ここまでの取り組み等食の安全に関することが少し分かった研修となった。

各省庁からの説明があり、多方面からの放射性物質と食の安全について話を聞くことができ、現状を把握するきっかけとなりました。

今まではマスコミ報道による情報が主で、今回の説明会により実情が分かった。

意見交換は細やかな説明で理解ができた（本音が聞けたのではないか）。水の事、魚の事を聞くことができ、よかったと思う。食の安全はとても大事なことであり、その基準も年数が経つにつれ基準が変わってくるのは当たり前で、現在はどうかを知りえたことが良かったと思う。

意見交換の中で少し疑問が解けました。

- 自分が分かっているようで知らないことを理解できた。
- 昨年に比べ関心が薄れているように感じていたが、基準も厳しくなり、安全になりつつあるが、まだ超過しているものがある現実を忘れないようにしたいと思う。

説明会全体について、改善すべき点

輸出品など海外へは安全性は示していけているのか。出荷制限を受けた農家は現在どうしているのか。日本全体の農業について、安全性と自給率についての説明。国産はより安全であり信頼できると思いたいし、国産のものを選んで消費したい。消費者へ向けての説明もあったら良かったのでは。

もっと具体的に事例を挙げて話をしてほしい。もう少し突っ込んだ話を聞きたかった。安全だけでなく危険な面も聞きたい。(メモを取る机がほしい)
身近な食品の具体例。毎日のスーパーで買う食品類で話してもらえればと思った。

本会の資料が事前に参加者の手に入ると良い。事前に読めば意見等出しやすい。

どうしても説明が数字中心になったりします。もう少し興味を持って話が聞けるよう工夫していただけるとありがたいです。

テーマについての時間をもう少し長くしていただくと、さらに深く知ることができると思います。はしょった感がありました。

知識を持っている者ばかりが参加していない点を考えてほしい。

全国各地での具体的な対策例の紹介があっても。風評対策の報告。

説明のスピードが速い。

水産物の放射線の影響が少なくなってきたというのには確実なのか？出荷制限(検査結果より)により結果判断している(区分している)。

事前に資料内容を少し渡していただけたら把握しやすい。

時間の制限があるため、難しいとは思いますが、私たちは一般県民ですから、もう少し、速度を落として、親切に説明してほしい部分がありました。

参加者が少ない。情報の伝達方法を考えよ。PRの方法として新聞などのメディア活用がベター。対象のレベルはどこに。一般生活者のレベルで理解できるように、やさしく具体例を示して解説すべき。

今回の参加者に資料1の説明は必要だったのか。もっと資料3の時間を取っても良かったと思います。

説明会全体について、改善すべき点

このような説明会があることを知らずにいました。もっと広く知らせていただきたいし、続けていただきたい。

現時点での報告はよく分かったが、今後どのようになっていくのかについての内容が乏しい。将来に向けてどのように向き合うべきか知りたかった。

各省庁の説明がもう少しゆっくりでもよかったかなと思います。

一般市民向けにも分かりやすく発信して、不安を除くようにお願いしたい。（情報不足により不安感あり）

- 食の安全について、今回のようなシンポ等を各市町村においても意識づけ（動機）等の普及活動を推進展開していただきたい。
- 食の安全は広く一般の消費者に関わることなので、消費者（老若男女）サポーターとしての監視、又意見を吸い上げる必要があると思います。
- 消費者、食品業者等今後どうしていけばよいか、注目していけばよいかというようなことが知りたいと思った。
- 資料2の内容が難しく、早くて聞き取れないところがありました。

その他(今後希望するテーマ等)

もっと若いお母さんたちに参加してもらい、放射能についてもっと勉強してもらいたい(試食など用意して)又時間も午前の方が参加しやすいと思います。

放射線の性質、放射性物質の性質について、どのように放射線ができるか、体内に入ったら自然に出る(排出される)、なぜ、どれだけ体内に残留するのか・・・疑問が一杯
十分わからない状態では、本当の対策はできない。国を挙げて放射性物質と対策、安全策を研究し、公表してほしい。
豊富な知識があって安全が追求できる。(原子力発電についても同様。対処的なことばかりでなく、長期(10年、50年、100年単位)にわたる影響、利点、欠点をもっと研究すべきではないでしょうか。

放射線の悪影響への対策が遅れているのでは?年数(期間)だけが経過しているだけのような気がします。もっと積極的な対策をしてもらいたい。

特に思い付きませんが、できるかぎり出席して知識を得たいと思います。

毒キノコ、毒草について

添加物

食品表示

食品とは別になってきますが、薬物の脱法ハーブ等、一般の方にはわかりにくい薬物について、国や県の取り組みをどこまで進めているのか知りたいです。
食品でしたら、中国製のものについての不信がぬぐえないので、外国の物についてもどんな取り組みなのか知りたいです。

食品添加物の安全性について

今回の原発事故で誰が責任をとったのか。無責任な状況に腹が立つ。放射性物質の問題については頭の中ではほぼ理解はしている。政治の問題。このような説明会なり、意見交換会はできるだけ多く開催すべきだと思います。

今は、放射能のテーマが一番であると思うが、食の安全・安心は放射能だけではない。違ったテーマでもお願いしたい。

- 食の添加物の安全性
- 食品の表示
- 食の危険

シンポジウムの開催を知った方法(すべて選択)

県から郵送されてきたチラシ	24	27%
その他(所属団体からの連絡等)	16	18%
「食卓の安全・安心ニュース」	12	14%
県の広報紙「岐阜県からのお知らせ」	11	13%
県のホームページ(Facebookページを除く)	11	13%
岐阜バス車内の電子看板(バスチャンネル広告)	6	7%
「ぎふ食卓の安全・安心メールマガジン」	6	7%
テレビ(ぎふチャン データ放送)	1	1%
Facebookページ「岐阜県食品安全推進室」	1	1%
新聞記事	0	0%
ローソン店舗内に置かれていたチラシ	0	0%
計	88	100%